

せきね 知っ得! 通信

2

February 2014

せきね FP 社会保険労務士事務所

〒947-0028 小千谷市城内 2-4-26 TEL0258-83-3048 FAX0258-83-3049

メール sekinekyrs@mountain.ocn.ne.jp ホームページ http://www.office-sekine.com

発行:2014年2月

2014 ソチ冬季五輪が開幕ですね。中でも、フィギュアスケートは人気が高くメダルが期待される種目ですが、いつも解説者の専門用語が意味不明です。もっと観戦を楽しめるように荒川静香さんの本を読みました。ちょっと「通」を気取れるかもしれませんのでご紹介します。

ジャンプの名前と難易度

色んなジャンプの名前が出てきますが、主な特徴と難易度は次の通り。

<トウループ> 難易度★

左足のつま先をついてジャンプ。簡単で基礎点が低い



<サルコウ> 難易度★★

右足を上に振り上げてジャンプ。
一瞬、足が「ハ」の字に見える。



<ループ> 難易度★★★

ジャンプの基本姿勢。右足で踏み切り、足が交差するようになる。



<フリップ> 難易度★★★★

右足のつま先をついて、左足内側のエッジで踏み切る。



<ルッツ> 難易度★★★★★

右足のつま先をついて、左足外側のエッジで踏み切る。
つま先をつくジャンプで最も難しい。



<アクセル> 難易度★★★★★

唯一、前向きに踏み切るジャンプ。

浅田真央選手のトリプルアクセルは難度が極めて高い。



(イラスト: 関根)



現在の採点方式

現在のISU ジャッジングシステムは、以前の6点満点方式ではなく加点方式。技の基礎点に加点や減点を与えていく技術点(エレメンツ・スコア)と、演技全体の印象を評価する演技構成点(5コンポーネンツ)の総合で競います。

「シーズンベスト」とは、そのシーズンにその選手が出した最高点。また、「パーソナルベスト」とは、その選手のこれまでの最高点という意味。

次ページに続く

ビールマンスピンの難しさ

デニス・ビールマン選手の名前がつけられた右の写真のスピンは、現在の採点方式になってから、最高レベルを取るために女子にとって必要不可欠になった技です。柔軟性と強い筋力が必要で、このスピんで腰を痛めてしまう選手もいるそうです。元祖であるビールマン選手も腰を痛めて引退したとか。男子では、若い頃プルシェンコ選手がやっていましたが、今はしていません。羽生結弦選手がビールマンスピンを見せてくれています。



チャレンジ精神を評価する

現在の採点方式になった当初は、難しいジャンプに挑戦して回転不足と判定されるより、無理をしないジャンプで確実に決めた方が高得点になる傾向があり、プログラムを無難にまとめる後退現象が起きてしまいました。そのため、現在は回転不足の減点は緩やかになり、難易度の高いジャンプの基礎点が高くなりました。挑戦する人が報われる評価なので、メダルを狙う選手はチャレンジするでしょう。また、疲れの出るプログラム後半のジャンプには10%加点されます。羽生結弦選手は強いメンタルを武器に加点を狙ってくると思われています。

キス&クライ

演技が終わった後、座って点数が出るのを待っているシーンがありますね。あの場所は「キス&クライ」と呼ばれています。出てきた点数を見て、選手とコーチや振付師がキスやハグをしたり、うれし涙や悔し涙を流したりすることからそう名付けられたそうです。日本代表選手のうれし涙が見たいですね～！！

以下は、新潟県出身の主なソチ冬季五輪日本代表選手（他にもいたらゴメンナサイ）



女子モーグル
星野純子選手（長岡市出身）



スノーボード
平野歩夢選手（村上市出身）



スキージャンプ
清水礼留飛選手（妙高市出身）



バイアスロン
井佐英徳選手（小千谷市出身）

日本代表選手の活躍を心から祈ります！！

◆4社に1社は退職一時金・退職年金「なし」

「就労条件総合調査」（厚生労働省 2013年11月発表）は、常用労働者数30人以上の企業を対象に調査を行い、4,211社から有効回答を得てまとめられています。

調査によれば、2008年当時は83.9%の企業が退職給付制度ありと回答していたところ、今回は75.5%まで減少しています。

◆「退職一時金制度のみ」が大幅増

2008年当時から比べると、

「退職一時金・退職年金を併用」とする企業	31.9%	⇒	22.6%
「退職一時金制度のみ」とする企業	55.3%	⇒	65.8%

支払準備形態について

- ・退職一時金制度がある企業
 - 「社内準備」とする企業が 64.5%
 - 「中小企業退職金共済制度（中退共）」 46.5%
- ・退職年金制度がある企業
 - 「厚生年金基金」 44.8%
 - 「確定拠出年金（企業型）」 35.9%
 - 「確定給付企業年金」 35.6%

◆支給額も大幅減

勤続35年以上の定年退職者の退職給付額は、

- ・大卒者 2,156万円（前回は335万円減）
- ・高卒者（管理・事務・技術職） 1,965万円（同273万円減）
- ・高卒者（現業職） 1,484万円（同537万円減）



◆これからの主流は「確定拠出年金」？

一時は「確定拠出年金の6割が元本割れ」との報道もなされましたが、2013年9月時点において、株価上昇等により、98%の加入者が元本割れの状況を脱し、通算の運用利回りの平均は年率で3%台に回復しました。

2014年度の税制改正においては拠出限度額の引上げについて検討が進められていますが、税制上の優遇措置もあることから、今後、厚生年金基金制度の見直しにより、確定拠出年金へと移行するケースが増加する可能性があります。

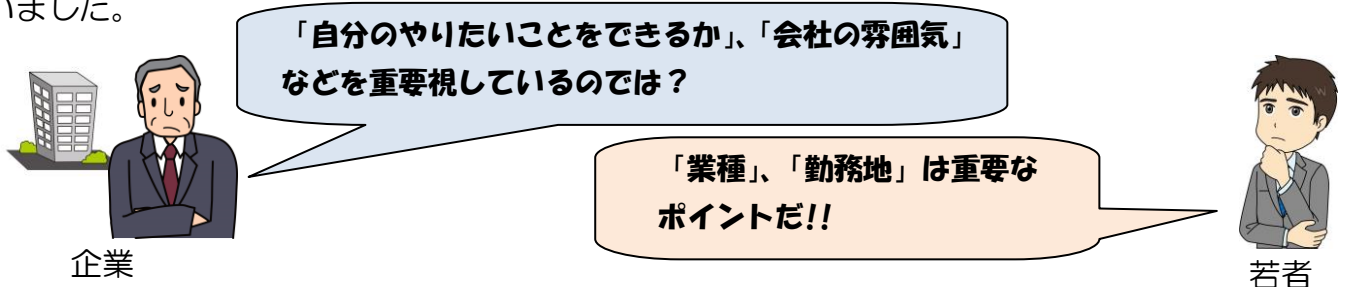
退職給付制度のある企業においては、メリット・デメリット双方に関する情報収集が必要となるでしょう。

◆企業と若者の間で仕事に対する意識にズレが？

日本生命保険相互会社が発表した、「企業調査」(従業員数 1,000 人以上の企業などを対象)と、「若者調査」(全国の 20 代以上の社会人および就職が内定している大学 4 年生などを対象)によると、仕事に対する意識において企業と若者の間にズレが生じていることがわかりました。

◆新卒の採用・就職についてのズレ

就職先の検討時に最重要視しているポイントについて聞いたところ、企業は「自分のやりたいことをできるか」と想像していたようですが、実際には若者は「業種」「勤務地」を重要視していました。



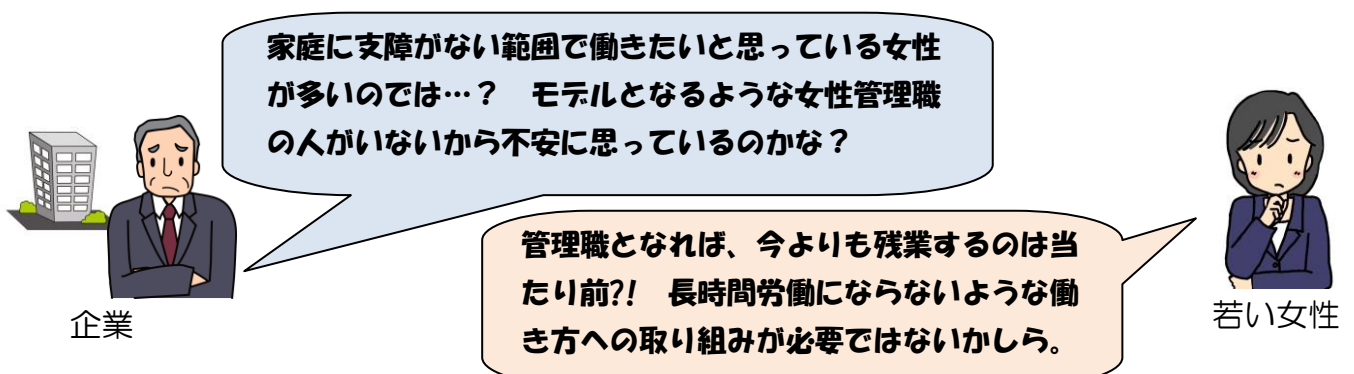
「ブラック企業」への取り組みが話題となっており、若者の労働環境や早期退職率等に対する関心が高まっています。過半数が候補企業名と「ブラック企業」のキーワードで、インターネット検索をしているようです。

◆新卒の定着・育成についてのズレ

また、若者(社会人)の4割弱が入社時と比較して仕事に対する意欲を低下させており、「給与水準」「人事制度」「退職金水準」については、期待外れだったとする割合が高かったようです。現在の職場を退職しようと思った経験がある若者は6割強で、その要因を「職場内の人間関係への不満」としていますが、企業は「仕事内容への不満」と想像しているようです。

◆女性の活用についてのズレ

女性が管理職になるうえでの課題について聞いたところ、企業の回答は、「家庭に支障がない範囲で、仕事をしたいという意識の女性が多い」や「モデルとなる女性が少ないため、管理職になることを不安に思う女性が多い」、「会社として、女性の育成や活用の方針が明確になっていない」が上位を占めました。若者(社会人)は、「長時間労働を前提とした働き方の見直しが十分に進んでいない」が最も多く、ここにも両者の認識に違いが見られました。



「気になる！」を勝手に情報発信コーナー

書籍 はとバスをV字回復させた社長の習慣 宮端 清次

組織の意識改革が成功した例として「はとバス」の名前がよく挙がりますよね。重版されている本ですので、一度読んでみるのもいいと思います。

「東京観光」でお馴染みの「はとバス」ですが、著者の宮端氏が社長に就任した1998年当時は、4年連続の赤字で70億円の借入金を抱え倒産寸前でした。そこから奇跡のV字回復を実現した道のりを綴っています。

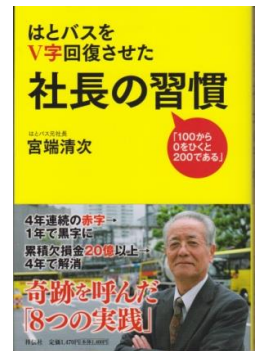
「1年で出来ないものは、4年経っても出来ない」

宮端元社長は就任の挨拶で「1年で黒字化出来なければ社長を辞職し、役員も総退陣」と宣言。本当に1年で黒字を達成しました。宣言のワケは、役員全員と危機を共有し「死にもの狂い」の覚悟を社員に伝えるためでした。つい、目標を先延ばしにしてしまう私には耳の痛い言葉です。

「自らがお客様にならないければ、お客さまの気持ちはわからない」

本当の意味で「お客様第一主義」を知るために、身分を隠し、月に3回自腹ではとバスツアーに参加した宮端氏。本社の冷暖房の効いた部屋ではいいアイディアが出ないとか。

社長の「本気」が伝わり、社員からは160件の改善策が出て、運転士たちは安全対策に「ヒヤリハット集」を作成。成功事例だけでなく、失敗事例やリアルな苦い経験も書かれています。やはり組織は「トップ次第」と言わざるを得ません。



書籍 面倒だから、しょう 渡辺 和子

以前このコーナーで紹介した「置かれた場所で咲きなさい」の第2弾。前作とほぼ同じ内容のコメントがいくつかあり、それがやや気になりましたが、特に寝る直前に読むにはピッタリの心安らぐ本です。

特に印象に残ったのは、次の2つ。

「面倒だからする」…人は皆、苦勞を厭い、面倒を避け、楽な道を歩もうとする。そんな自分と闘いながら、より良く行きていこう。

「自分の感情を認めた上で、大ごとにしなさい」…感情の起伏の少ないことは、成熟した人間。腹を立てても、不安がってもいい。でも、感情に振り回されて、自分を見失わないこと。



小千谷 ラーメンつり吉2号店 サンプラザ1F

寒い日が続いていますね。お昼に熱々のものが食べたいが、大雪の外には出たくない…中越地震の前までは近所に出前をしてくれる店が数件あったのですが、今では、そんなワガママを聞いてくれるところは1軒だけとなりました。それが、なんと人気ラーメン店つり吉さんです。私は普段から「つり吉」ファンなのですが、ダメもとで電話したところ、「近くならいいですよ」という返事！小躍りして喜びました。

ラーメン2つだけでは申し訳ないと思い、出前希望者を募って何とか数を増やし注文しました。熱々のラーメンで幸せを噛みしめたランチでした。

